

名古屋大学高等教育研究センター

第37回客員教授セミナー

ラーニング・アウトカムズの観点から カリキュラムを考える



川嶋 太津夫 氏

(神戸大学大学教育推進機構 教授)
(名古屋大学高等教育研究センター客員教授)

講演要旨

最近、我が国でも「学士」学位が証明する能力は何かという議論が始まっている。また、中央教育審議会の答申では、学位授与の条件を「ディプロマ・ポリシー」として明確化するように大学に求めている。国際的に見ても、高等教育の質の保証やアカウントビリティの観点から、大学が卒業時に学生が習得すべきラーニング・アウトカムズを明確にし、その達成度を査定(アセスメント)することを政府や第三者評価機関が求め始めている。

そこで、今回のセミナーでは、アウトカムズ志向の高等教育改革の動向と、それがカリキュラム編成に持つ意味を検討してみたい。

日時:

7月26日(木)18時15分~20時

場所:

名古屋大学文系総合館7階
オープンホール

お問い合わせ:

夏目 natsume@cshe.nagoya-u.ac.jp
052-789-5693

※セミナーに出席を希望される方は、セミナー当日までに<seminar@cshe.nagoya-u.ac.jp>宛へご連絡下さい。(準備等の都合のためであり、必須ではありません。)セミナーは研究者、教育関係者、教育機関の事務担当者、学生(大学院生・研究生・学部生)、社会人など多くの方の参加を歓迎しております。また、セミナー開催情報メールサービスも是非ご利用下さい。